

【家庭教育支援于一ム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	水戸市家庭教育支援チーム (呼称:水戸市訪問型家庭教育支援チーム)
②活動拠点	水戸市教育委員会みと好文カレッジ
③活動範囲	水戸市全域
④組織体制	<u>17 人</u> ・推進委員6人 元教員1人、子育て支援団体関係者1人、カウンセラー1人 保健師1人、ソーシャルワーカー1人、大学教授1人 ・家庭教育支援員 11 人(うち2人は推進委員と兼任) 元教員6人、保健師 2人、ソーシャルワーカー2人 子育て支援団体関係者1人
⑤活動開始年度	平成 30 年度_
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 水戸市教育委員会みと好文カレッジ (TEL)029-303-6602 (E-mail) kobun.college@city.mito.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☐ 保護者等への学びの場の提供 ☐ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☒ 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) → ☒ 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) → ☒ その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
-----------------------------	--

②活動対象 (複数チェック可能)	☒乳幼児 ☒小学生(低学年) ☐小学生(中学年) ☐小学生(高学年) ☐中学生 ☐高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 課題を抱え、保護者向けの学びの場や相談の場に自ら足を運ぶことが難しい保護者に支援チームが支援を届け、保護者への支援を通じ子どもの育ちを支える。 【個別訪問】 家庭教育支援員が2人1組となり、個別に対象家庭(個人宅又は指定場所)を訪問し、保護者の悩みに耳を傾け、不安を和らげることを基本として、家庭教育に関する情報提供を行うほか、必要に応じて専門機関へとつなぐターゲット型支援を実施する。 【全戸訪問】 市で指定する特定の学校に在籍する小学1年生のいる全家庭への訪問を実施する。対象となる学校と連携し、支援員が2人1組となって各家庭を訪問し、家庭教育に関する情報提供を行うとともに、子どもの生活習慣に関する相談等に対応する。 【幼稚園等訪問】 市立幼稚園・認定こども園の降園時等、保護者の集まる機会に支援員が訪問し、相談を受ける。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・支援員が保護者の話に耳を傾け、保護者に寄り添った支援を行うことにより、保護者の不安が軽減し、安心して子育てできるようになったなど、家庭教育支援の一助となっている。 ・毎月のケース会議により、支援員と行政とで情報共有をし、支援の方針等について協議している。また、相談の内容により、必要に応じて福祉部や子ども部等と他関係機関と情報を共有するなど連携を図り、今後の支援方針などについて検討している。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業) ☐文部科学省委託事業(事業名:) ☐厚生労働省事業(事業名:) ☐地方公共団体単独事業として実施 ☐特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐その他の支援により活動を実施 ()